



天候に左右されず周年栽培を行える環境を生かし、独自の出荷基準と糖度基準を設けた高糖度トマト『アメラトマト』として商品化。ブランド化により安定生産を実現し、直営農場で障害者3名を直接雇用。

基本情報

- 所在地：静岡県静岡市
- 団体名：株式会社サンファーマーズ
- 選定表彰：
 - 日本農業賞特別賞 (平成24年)
 - イノベーションアワード金賞 (令和4年)
- 主力商品：アメラトマト
(高糖度トマト) の生産販売
- イベント：市役所での販売、幼稚園との連携による収穫体験など



苗の定植作業

取組の概要

- 社内に福祉農業部を立ち上げ、直営福祉農場を新設。障害者の直接雇用と福祉事業所への作業委託により農福連携によるアメラトマトの生産を行う。
- 直営福祉農場では、トマト栽培で発生した残渣をたい肥化し、幼稚園と連携した食育活動の実施や、特別支援学校からの職場実習の受け入れを行う。
- アメラトマトの生産農場と福祉サービス事業所の中間サポートを行うとともに、10か所の福祉事業所に対して、作業の一部を委託し、知的障害、精神障害、身体障害（車いす利用者）が農作業に取り組む。



福祉事業所の施設外就労によるポット回収



主力商品「アメラトマト」



【直接雇用障害者】作業風景



【幼稚園連携】収穫体験

体制図

株式会社サンファーマーズ

サンファーマーズ 直営福祉農場 (静岡県藤枝市)
(障害者雇用3名)

福祉サービス事業所との業務連携2社
幼稚園との連携 (食育活動)

アメラトマト生産農場 (静岡県11箇所、長野県3箇所)

福祉サービス事業所との業務連携8社

取組の成果

- 平成28年から障害者雇用を始め、知的障害者3名を雇用。一般の従業員と同じ賃金で雇用し社会保険にも加入。
- 特別支援学校や福祉サービス事業所から、これまでに21回の実習を受け入れ、実習から雇用につなげた。
- 車いすの方でも活躍する場ができています。
- 10か所の福祉事業所に対して、農場の作業の一部を委託している。
- 令和3年度には8か所の福祉事業所の連携により80名の利用者が活躍。

所在地 ▶ 〒422-8072 静岡県静岡市駿河区小黒2丁目5-10

連絡先 ▶ TEL:054-282-2756 E-mail:yamazaki@amela.jp

ウェブサイト ▶ <https://www.amela.jp>

【取組のプロセス】

平成26年

福祉農場を新設し、障害者雇用、福祉サービス事業所との連携の基盤を作る。

きっかけ

福祉関係者からのアドバイスで、トマト栽培は周年作業で年間に同じ作業を繰り返し行うことから障害者が活躍できる環境があると知った

平成29年

0.6haの直営福祉農場新設（温室ハウス）

障害の特性と農作業のマッチング

- 選果作業では、障害の特性から不良品の発見に長けた方がいるなど、障害者雇用がアメリカトマトブランドの維持に大きく貢献している。
- 福祉農業部を立ち上げ、福祉の知識のあるものが農場の管理を行っているため特化したジョブコーチの役割を兼ねている。
- 指導計画書を作成し指導することで、雇用している障害者が着実にステップアップできるよう取り組んでいる。

幼稚園との連携開始

地域との連携

- 障害者雇用をきっかけに藤枝市役所で販売会を行い、障害者の活躍の場が拡大してきた。
- 特別支援学校の実習の受け入れや幼稚園との連携では、雇用している障害者もイベントの企画立案から実行までかわり、地域との連携が推進している。
- 幼稚園との食育活動においては、幼稚園の保護者参観のイベントとしても食育活動を行い地域との連携の強化を図っている。

令和元年

社内に福祉農業部を立ち上げ

直接雇用と福祉事業所との連携

- 直営福祉農場のスタッフ8名のうち、3名を障害者雇用している、当初は作業が限定的であったが現在はすべての栽培にかかる作業を行えるようになり大きな戦力となっている。
- 令和4年時点で10の福祉事業所と連携している。福祉事業所ごとに利用者の障害の程度は様々だが、それぞれが特色を生かしながら作業に携わっている。

令和元年に障害者雇用が3名に

令和3年

連携する福祉事業所が10か所に

障害者が従業員の一員として成長し、定着し農場運営の戦力へ

- 連携している福祉事業所の利用者からの自社雇用が決まるなど、福祉事業所は重要なパートナーとなっている。今後も雇用した障害者が定着できる支援体制となっていくよう、福祉事業所との連携を強化し、障害者とともに企業としての成長を目指す。

今後の展望



作業風景



地域での販売会



特別支援学校の実習の様子



【幼稚園連携】保護者参観会